

別紙A

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立 羽津小学校

校長 金原 正紀

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

今年度、四日市版コミュニティスクール「羽津小学校運営協議会」が発足し2年目をなりました。学校・家庭・地域と連携し、学校教育の充実を図るとともに、学校教育目標「豊かな心で 共に学び続ける子の育成」と開かれた学校づくりの推進を進めてきました。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

○読書活動支援

読書活動の一つとして、保護者で構成する支援者団体「まざりいず」に参加していただいています。今年度のメンバーは10名です。読書週間中には各学級を回っての朝の読み聞かせがあり、いきいきタイム（20分休み時間）を活用した定期的なお話活動も実施していただきました。また児童玄関には、読み聞かせた本の紹介コーナーも開設していただき、本を手にしたりもう一度読んだりする児童の姿が見られました。PTA 役員と連携した読み聞かせ会も実施し、「まざりいず」による本のプリビオバトルはとても好評でした。



また、子ども達一人一人の貸し出し冊数の増えていないこともあり、一人2冊の取り組みを始めたことで子ども達の読書をする機会が増えました。さらに図書委員会の活動の一つとして、委員会の児童による新書の選定を行いました。より図書室にある本が子ども達にとって読みたい本に出会える場所になりました。

○地元伝統産業「万古焼」に関する体験活動

毎年、1・3・5年が地域の伝統的産業の万古焼作品づくりに取り組んでいます。2月には一人一人の作品を校内図画工作展に出品し、保護者や地域の方に見ていただく予定でしたが、今回はコロナ禍により公開を中止になってしまいました。

また、図工で焼き物を扱う場合、仕上げまでには指導技術や焼成の設備と労力が必要なため、今年度も「万古の里会館」にて、4年生が1月に万古焼のひな人形の絵付け体験を行わせていただきました。



○園芸・栽培等体験的活動の充実

日常の学習活動に栽培体験を取り入れた食育に取り組んできました。栽培や収穫の経験は、働くことの喜びを味わうことができます。

また、今年度も食べることはできませんでしたが、収穫した作物を家庭に持ち帰り、どのように料理したかをまとめ、子ども達どうしで交流しあいました。

地域のまちづくり推進協議会よりいただいた花の苗を、環境委員会が中心となり、移植及び管理を行っています。



○地域の方から学ぶ活動の充実

1年生では「とみまつ隊」の方に来校していただき交通安全についてじっくり学ぶことができました。入学して間もない子ども達にとって、交通安全について体験的に学ぶことは、一人一人の安全意識を高めるうえで、たいへん効果的でした。

3年生では地域の消防団の方々をお招きし、また地元の阿倉川交番の警察官の方にも来校していただき、私たちの暮らしを守るために日々活躍されている方々のお話を聞かせていただいた。

今年度より、4年生では地区市民センターや羽津地区防災協議会の方々を講師に、防災学習に取り組みました。羽津地区の防災カルテについて話を聞き、防災倉庫の中を見せていただきました。簡単な防災グッズの作成も行いました。これらの活動を通して子ども達一人一人の防災に対する意識を高めることができました。



○横断旗講習会の実施

例年、登校班の新しい班長さんや副班長さんが決まると、横断旗の使い方の講習会を各地区の町代表さんから、指導していただいています。この講習会をすることで、高学年としての自覚や交通安全についての意識を高めることができました。また、この機会を通して立哨をされている方へのあいさつや感謝の気持ちを伝えることの大切さを考える機会となっています。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

地域の方を外部講師として招聘したり、図書ボランティアの方に読書活動の学習支援として協力していただいたりするなど、保護者や地域の各種団体等と連携し、学校教育活動を展開することができました。さらに外部講師による体験活動では、その方の思いや願いにもふれることができ、より学習内容を深めることができました。

3 今後に向けて

昨年度よりコミュニティスクールの指定を受け、このコロナ禍の中でも、地域や保護者と連携した取り組みを進めることができました。

また、コミュニティスクール運営協議会の際には、学校教育ビジョンの取り組みや学校評価の結果について説明させていただいたり、子どもたちの活動の様子を参観していただいたりすることで、教育活動に



ついて率直なご意見をいただくことができました。昨年に比べて、今年も行事の延期や中止がありました。それでも制限の中で、できることを知恵を出し工夫しながら、実施できた行事が増えたことを評価していただきました。

これからも学習支援をはじめ、様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともにある学校」を目指していきます。